

認定NPO法人 アトピッ子地球の子ネットワークの 活動にご協力ください。

皆さんと共に
アトピー・アレルギーの
患者支援に取り組みます。



「NPO法人の活動は行政からお金をもらって活動するもの」と誤解されることがよくあります。

私たちは

- (1) 寄付、会費、参加費
- (2) 団体・企業・行政に社会貢献事業を提案し対価をいただく「協働」
- (3) 公益財団法人や企業などが公募する助成事業への「事業提案とその受託」
- (4) 企業の皆様による事業へのご協賛

などによって活動資金を得て事業を実施運営しています。

私たちは、年間100人以上の人々から3000円以上の寄付をいただくことによって「認定」の承認を得ています。認定NPO法人へ寄付をした人は税額控除を受けることができます。

寄付、ご協賛、ご入会、協働など、
様々な形で、私たちの活動をご支援ください。
お申込みは随時受け付けています。

プログラムを選んで支援する方法

夏休み環境教育 キャンプ



疾患があることで一般の野外活動への参加を断られる人でも参加できるキャンプを1994年から継続開催しています。

アトピー性皮膚炎、ぜんそく、食物アレルギーがある子どもたちと保護者やスタッフ、ボランティアなど、総勢120人前後の人が2泊3日のキャンプを体験します。幼児、子ども、大人それぞれがプログラムを楽しみ交流を深めます。2017年からはティーンエイジャープログラムを開始しました。

- ▶アトピー性皮膚炎
- ▶食物アレルギー
- ▶ぜんそく
- ▶化学物質過敏症

ティーンズ フォーラム



第1回：2018年10月7日(日) 予定
開催地：兵庫県

食物アレルギーがある高校生と大学生が主体となって運営開催するフォーラムです。患者本人が学び、悩みや不安を克服するための刺激を受け、社会に参加するために必要な発見や人との出会いの機会を提供します。

事前準備としてティーンズスタッフのみのワークショップを開催し、ティーン自身が構成したプログラムとなるよう支援します。ティーンズスタッフ20人、ティーン参加者80人、大人(裏方)15人規模のフォーラムです。

- ・ティーンズスタッフは高校生から参加できます。
 - ・ティーンズフォーラムは中学生から参加できます。
- まずはお問合せください。

- ▶食物アレルギー

アレルギー対応 食品企業 共同カタログ



食物アレルギーがある人の食生活に役立つ食品カタログを企業と共同で出資し制作します。病院、保育園、患者団体への無償配布により、どのようなアレルギー対応食品が市場にあるかを患者や医師らに紹介します。2017年版は11社の食品を掲載したカタログを1万部配布しました。各社Webサイトの二次元バーコードから商品購入できる仕組みです。

資料請求してきた人の声

- ・子どもに食物アレルギーがあるため、いつも食べられるものを探していました。こういうカタログはとても助かります。
- ・孫に食物アレルギーがあり、遊びに来るたびに苦労していました。活用させていただきます。
- ・ありそうでなかったカタログですね！是非、継続して欲しいです！

- ▶食物アレルギー

があります

アレルギー相談を テーマとした 事例検討会

(日本財団との共同事業)



「相談」を標榜している団体もあればそうではない団体もありますが、様々な地域で多くの団体が電話相談、カフェ、定例会などの交流の場を通じてアレルギーに関する相談を受けており、相談実態があることはどの団体にも共通しています。

相談の内容には、普遍的なテーマのもの、特筆すべき困難な事例、多くの団体で共有すべき課題や社会的課題として広く一般の人にも知ってほしい内容があります。これらの団体と毎年、事例を出し合い意見交換しながら、共有と研さんをする場として開催しており、よりよい患者支援のために多くの団体が交流する場となっています。この事例検討会は団体や企業に公開しています。

- ▶アトピー性皮膚炎
- ▶食物アレルギー
- ▶ぜんそく
- ▶化学物質過敏症

アジア会議・ シンポジウム

(日本財団との共同事業)



1) アジア各国の患者支援向上のための連携 2) 患者のQOL向上のためのハーモナイゼーションを目指した情報交換 3) 海外に出かける日本人のための情報蓄積と来日外国人への情報提供 4) 年に一度、様々なステークホルダーが一堂に会して食物アレルギー患者支援を考える事を目的に開催します。

2018年2月の第2回は①子どもたちの身体に何が起きているのか(タイ、オーストラリアの疫学調査)、②学校における食物アレルギーに関連した対応状況、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」現状と展望、各国の学校対応ルール紹介、③各国の食物アレルギー用代替食の紹介・患者団体と企業による意見交換を予定しています。

第2回シンポジウム参加費

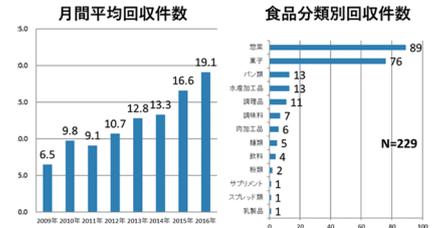
2/4(日) 5,000円、2/5(月) 8,000円
両日参加 10,000円

- ▶食物アレルギー

食物アレルギー 危機管理情報

Food Allergy Information for
Crisis Management(FAICM)

2016年 食物アレルギー危機管理情報(FAICM)



47都道府県が発表する食品回収情報のうち、アレルギー表示ミスに関する回収情報を集めてWebサイトに掲載しています。また、患者の誤食経験も蓄積配信しています。患者としての必要不可欠な知識の普及と生活の質(QOL)の向上を目指しています。

- 1) 表示ミス(混入、成分検出、ラベル貼り間違い・貼り忘れ、発症など)食品の回収情報掲載
- 2) 患者の誤食経験の紹介
- 3) 食物アレルギーがある人が使えるレシピ紹介
- 4) 生活に役立つ情報読み物掲載

*患者登録・配信無料

食物アレルギー危機管理情報
(FAICM)

<https://www.atopicco-foodallergy.org/faicm/>



- ▶食物アレルギー

会員になって活動全体を支える方

食物アレルギー患者 支援プロジェクト

(日本財団との共同事業)



食物アレルギーがある人のQOL(生活の質)向上に役立つ資料制作、普及啓発に取り組んでいます。食物アレルギーがある人に必要な「安全な食品づくり」や「食品表示のあり方」「治療の最前線」などについて、学ぶ機会を提供しています。普及啓発の過程で、様々な団体、様々な地域と連携しています。病院、保育園、学校、児童館など様々な方に配布・掲示の協力をいただいています。皆さんもぜひご参加ください。

□職員室への掲示物

ポスター「エビペン®の使い方」
ポスター「緊急時の救援方法」

□患者が身につけた方がよい事柄 (主に病院にて配布)

冊子「初めて友達の家に行く」

□工場見学、学習会など

栄養士、食品企業、医師を対象にアレルギーコントロール、食物アレルギーの患者実態等を共に学びます。

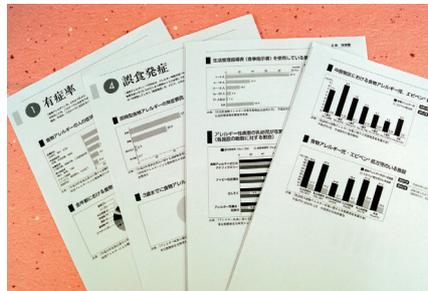
□食物アレルギーがある人の誤食実態調査 (Webアンケート)

他

▶食物アレルギー

アレルギー データブック

(日本財団との共同事業)



公開・発表されている調査報告を集積、グラフ化し、データブックとして編集・公開しています。

アレルギー疾患対策基本法が施行され、「アレルギー疾患がある人への理解を促す事業」や「アレルギー疾患がある人の生活の質の維持向上の為の施策」を実施するために必要な基礎情報を集めて公開しています。時間と労力が必要な作業ですが、公的助成事業の対象にはなりにくい分野です。患者支援のためにご活用ください。

* 閲覧した資料のリスト 143点

* 掲載グラフ 162点

* A4判

* 入手希望の方はメールでお問い合わせください。コピー費用と送料のご負担をお願いします。

お問い合わせ：info@atopicco.org

▶アトピー性皮膚炎
▶食物アレルギー

アトピー・ アレルギー 電話相談



「もしもし、あのう～」で始まるどんなお話でもお聴きします。「相談というほど整理できていないけどいいですか」というお声を良くお聞きします。まずはお話ししましょう。

* 患者や患者家族だけでなく、学校の栄養士、保育園関係者、食品関連企業など様々な立場の方々から、食物アレルギー、ぜんそく、アトピー性皮膚炎に関するお問い合わせやご相談が入ります。

* 災害発生時はこの電話相談の番号が救援依頼窓口の電話番号になります。(食物アレルギー用食物、ネブライザー、スキンケア用品等、患者が緊急に必要なものの搬送を要請できます)

アトピー・アレルギー電話相談

災害時に備え携帯電話に登録してください。

☎03-5948-7891

毎週木曜・金曜

11:00～12:00、13:00～15:00

毎月第3木曜、翌金曜(但し祝日、8月休)はホットライン

10:00～17:00

▶アトピー性皮膚炎
▶食物アレルギー
▶ぜんそく
▶化学物質過敏症

患者会員(患者とその家族)年会費 3,000円/1口、賛助会員・個人年会費 5,000円、賛助企業・団体年会費 50,000円/1口
賛助患者団体年会費 1,000円(専用申込書をご請求ください)

法があります

IFAAA 食物アレルギーと アナフィラキシー 国際会議出席

International Food Allergy & Anaphylaxis Alliance



23か国が参加する国際的連携組織です。ヨーロッパ免疫アレルギー学会(EAACI)と連携して調査研究にも取り組んでいます。食物アレルギーがある人のQOL(生活の質)の向上を目指して、先進的取り組みや成功事例を共有しています。各国からは1団体のみがオフィシャルで参加し、日本からは参加団体の(一社)食物アレルギーフォーラムからアトピッ子地球の子ネットワークが派遣される形で出席しています。日本が主催する「アジア会議・シンポジウム」はIFAAAのサブグループとして誕生しました。

▶食物アレルギー

東京子育て・ 食物アレルギー まっぴんぐ

(Webサイト)



東京都内に店舗がある食品販売店、レストランなどで、食物アレルギーの人が買える場所、食べることができる場所、選ぶことができるメニューを探し紹介しています。

情報を一般の人に寄せてもらい、スタッフや編集者が情報を確認したもののみを掲載しています。子育て中の人だけでなく、食物アレルギーがあり、食品探しやレストラン探しをしたい人に活用していただくものです。

(公財)東京都福祉保健財団 東京子育て応援事業(2015、2016)の助成事業として実施しました。情報掲載は無料です。多店舗展開をしている企業の掲載を募集中です。

東京子育て食物アレルギーまっぴんぐ
<http://foodallergy-tokyo.com/>



▶食物アレルギー

エピペン® 携帯ケース



野外活動、林間学校、クラブ活動の試合参加、ちょっとした外出など、どんなときにもエピペン® (アナフィラキシー補助治療剤・アドレナリン自己注射薬)を持ち歩けるように、食物アレルギーがある子どもたちの家族が知恵を出し合って作りました。利用者アンケートをWebで紹介しています。

頒価2000円(アンケート謝礼500円付)。利益がない状態ですが、エピペン® 普及活動の一環と位置付け取り組んでいます。

□布製、8.5cm×20.5cm、マチ2.7cm



□こんな事例がありました

学校主催の「林間学校」に参加した。森の中を水筒だけ持って2時間歩くと、エピペン®を養護教諭に預けた。昼食後に運動誘発の兆候が出て全身に蕁麻疹が出た。養護教諭は1キロ先を歩いていたので友人に呼びに行ってもらった。エピペン®を使ったのは発症から30分後だった。本人が身につける形でエピペン®を持って参加したかった。

▶食物アレルギー

実績紹介（一部）

■調査・研究

- 1) 子育て世代の療育実態、予期せぬアレルギーの誤食実態など、時々テーマをとらえて、郵送やWebによる有症者へのアンケート調査を実施。
- 2) 会員企業からの依頼による調査の実施。アトピー性皮膚炎の人を対象とした使用感テスト、日用品に含まれる化学物質の実態調査。食物アレルギーの人の表示に対する意識など、テーマ・対象は様々。

■講演・研修

パルシステム静岡「アレルギーをもっと知ろう！」

パルシステム山梨「子どものアレルギーに関する講演会」

わらべや日洋(株)「食物アレルギーの現状と課題」

(一社)兵庫小児アレルギー研究会「アレルギー疾患対策基本法を考える」

パルシステム茨城「アトピー、アレルギーがある子の子育て」

石井食品(株)「研修・食物アレルギー勉強会」

ハウス食品(株)「研修・食物アレルギーについて話そう」

(株)セブン-イレブン・ジャパン「研修・食物アレルギーの実情：アレルギー表示に望むこと」

豊島区立小学校教育研究会「食物アレルギーの対応について」

アレルギーサポートネットワーク埼玉「いざという時の備え」

デリア食品(株)「研修・食物アレルギー患者の実状」

(一社)日本パン技術研究所「アレルギー物質を含む食品の表示について」

(一社)食品表示検定協会「アレルギー患者から見たアレルギー表示について」

那須地区農村生活研究グループ協議会「食物アレルギーの基礎知識」

食品品質保持技術研究会「アレルギー患者は食品表示をどのように活用しているのか？」

食物アレルギー研究会「アレルギー疾患対策基本法によって何が変わるか？変えられるか？」

認定NPO法人アトピッ子地球の子ネットワークへの寄付や会費は寄附金控除の対象となります（税額控除または所得控除、一部自治体では住民税控除）。

■一例 個人の寄付や会費は納税額が減額されます（事実上のキャッシュバック）

3千円の寄付や会費で最大500円、1万円の寄付や会費で最大4,000円、5万円の寄附や会費で最大24,000円が税額控除されます（確定申告が必要です）。

■年会費

患者会員（患者とその家族）年会費3,000円／1口以上

賛助会員・個人 5,000円／1口以上

賛助会員・団体 50,000円／1口以上

著書紹介（共著、単著）



食品事業者のための食物アレルギー対策
 (公財)日本食品衛生協会 3,200円(税別)



学校給食アレルギー事故防止マニュアル
 先生・親・子どもとはじめる危機管理
 赤城智美
 合同出版
 1,100円(税別)



アトピー・アレルギー克服応援ブック
 必ず道が見つかるアドバイス
 合同出版
 1,300円(税別)



食物アレルギーの基礎知識
 (株)日本食糧新聞社 1,500円(税別)



家族と専門医が一緒に作った小児ぜんそくハンドブック
 2012改訂版
 (株)協和企画 1,500円(税別)



Q&Aでわかる0・1・2・3歳の食物アレルギー相談対応ブック
 (株)診断と治療社 2,800円(税別)

こんなキャンペーンも実施中です

食物アレルギー体験カードゲーム「らんらんランチ」普及キャンペーン

全国の学童施設、児童館、生活協同組合のグループ、ボーイスカウトのリーダーグループ、PTAのグループ、企業内グループなど、様々な立場の人が参加しています（「らんらんランチ」は子どもも遊べるゲームですが、本キャンペーンは大人のグループを配布対象としています）。

1セットにカードゲーム「らんらんランチ」が4個入りしており、12人～20人規模のイベントが開催できます。応募要件を満たした団体に無料配布します（但し、発送手数料として1,000円いただきます）。

参加したグループから寄せられた開催報告や写真を当法人Webサイトで紹介しています。応募要件の詳細も当法人webサイトでのご確認をお願いします（日本財団共同事業）。

私たちは認定NPO法人です

- ・ **個人**が認定NPO法人に寄付をした場合は、所得控除又は税額除のいずれかを選択適用できます。
- ・ **法人**が認定NPO法人に寄付をすると、一般のNPO法人に寄付した場合の一般損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額が設けてられおり、その範囲内であれば損金の額に算入することが認められます。詳細はお問い合わせください。



寄付を送金

アトピッ子地球の子ネットワーク

<http://www.atopicco.org>



Facebook アカウント

<https://www.facebook.com/atopicco>



Twitter アカウント

@atopicco.org



アトピッ子
HP

食品回収情報・レシピ・誤食事例 食物アレルギー危機管理情報

<https://www.atopicco-foodallergy.org/faicm/>

東京子育て 食物アレルギーまっぴんぐ

<http://foodallergy-tokyo.com/>

みずほ銀行赤坂支店
普通 1834363
アトピッ子地球の子ネットワーク

郵便振替 00170-3-361426
アトピッ子地球の子ネットワーク

ゆうちょ銀行 019店
当座 0361426
アトピッ子地球の子ネットワーク

楽天銀行サルサ支店
普通 7043910
特定非営利活動法人
アトピッ子地球の子ネットワーク

マンスリー寄付も活用できます

毎月1,000円からお申し込みいただける、アトピッ子マンスリーカンパを募集しています。Webサイトから申し込みます。

継続的なカンパで、より専門性が高く正確な情報発信ときめ細かいアトピー・アレルギー疾患がある人への支援活動を行うことができます。アトピッ子マンスリーカンパで、私達の活動をご支援ください。

不用品をお宝エイドに送り売上げを寄付する

自宅に眠っている貴金属、ブランド品、テレカ、商品券、古銭古紙幣、骨董品などを、「おたからや目黒山手通り店」に送ると、買取金額に10%が上乗せされ、私たちに寄付されます。伝票の品名欄に「アトピッ子宛お宝エイド」と記入の上、ゆうパック着払いでお送りください。詳細はアトピッ子地球の子ネットワークにお問合せください。

アトピッ子のWebサイトからアマゾンを使う

代金購入額の1~3%が私たちへの寄付になります

クレジットカード、コンビニ、ペイジーで寄付できます

郵便局や銀行に行く時間がなかなかとれない方も、時間を気にせず寄付できます。クレジットカードのほか、コンビニやインターネットバンキング、ペイジーによる決済も導入しています。寄付金額のうち、3.8%は決済システム利用料としてカード会社に支払われます。

オンライン寄付サイト Give One からカード決済ができます。

会員になると

イベントの案内や年刊資料がお手元に届きます。
私たちの活動をご支援ください。



会費を送金

認定NPO法人アトピッ子地球の子ネットワーク



電話
03-5948-7891

メール
info@atopicco.org

ファックス
03-5291-1392

ホームページ
<http://www.atopicco.org/>

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-12
竹内ローリエビル503